

感研プロジェクト 3.11

プロジェクト主催フォーラムについて(報告)

感研プロジェクト 3.11 プロジェクト主催フォーラム

「集中復興期間」後の地域の復興課題を考える—原発事故後の福島県内での取組を通じて—

■概要

日 時：平成 30 年 3 月 4 日(日) 14:00～16:45

場 所：東北福祉大学感性福祉研究所 大会議室

主 催：東北福祉大学(感性福祉研究所研究プロジェクト 3.11)

■プログラム

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14:00 | 開会 |
| 14:05 | 開会の挨拶 阿部 四郎特任教授(東北福祉大学、プロジェクト研究代表者) |
| 14:10 | 第1部：福島の現場から コーディネーター 江尻行男教授(東北福祉大学、プロジェクト総括班) ・猪狩 隆氏 (富岡町社会福祉協議会事務局長兼介護保険事業所長兼総合福祉センター長) ・吉田 喜美江氏、鈴木 美保子氏、加井 千佳子氏 (浪江町役場健康保険課健康係保健師) |
| 15:10 | 休憩 |
| 15:20 | 第2部：フロアディスカッション コーディネーター 阿部 裕二教授(東北福祉大学、プロジェクト総括班) |
| 16:30 | ディスカッション総評 |
| 16:35 | 閉会の挨拶 阿部 一彦教授(東北福祉大学、プロジェクト総括班) |
| 16:45 | 閉会 |

■フォーラムの様子

平成30年3月4日に東北福祉大学感性福祉研究所において、本研究プロジェクト主催のフォーラムを開催した。フォーラムでは、テーマを『「集中復興期間」後の地域の復興課題を考える―原発事故後の福島県内での取組を通じて―』とし、福島県の富岡町、浪江町において、発災後から現場の最前線にて被災者支援を実施してきた4名の報告者からテーマに沿って報告を頂き、本プロジェクトの参加研究者とのディスカッションを行った。なお、本フォーラムは一般公開で開催されたことから一般の参加もあり、報告者も含め26人の参加であった。

第1部「福島の現場から」として、富岡町社会福祉協議会の猪狩隆氏より福島県富岡町の発災から現在までの状況とこれまで採られてきた各種被災者支援施策、社会福祉協議会としての取組と現在の課題について発言を頂いた。続いて、浪江町役場健康保険課の保健師である、吉田喜美江氏、鈴木美保子氏、加井千佳子氏の3名より浪江町の発災から現在までの状況、保健師の支援活動とそこでの住民の声、現在の課題についての報告がなされた。

第2部では、第1部の報告を受ける形で、参加者全体でのフロアディスカッションが行われた。

